



自らまなび 心豊かに
たくましく生きる
江北の子を育てます

江北小だより

～幸せいっぱい 학교をめざして～ 校長だより第5号
令和2年7月9日(木) 江北小学校校長 篠原 一彦

「大雨による児童引き渡し」への ご協力、本当に有難うございました

7月6日(月)は朝から雨脚が強く、町内では山あいの地区に「避難準備」の通知が出され、さらに「午後は佐賀県南部に激しい雨が降る恐れがある」との予報が出されました。そこで午後1時頃に役場、町教育委員会、中学校と協議し、「小学校の下校は午後3時から保護者に直接児童を引き渡す形で行う」と決定し、午後2時すぎにメールでお迎えをお願いさせていただきました。

メール配信から引き渡し開始までの時間が短かったので手配をしていただくのも大変だったと思います。しかし急なお願いだったにも関わらず、多くの皆様に迅速に迎えに来ていただきました。また、職員の指示通りに入車・進行・駐車・出車いただき大変助かりました。事前訓練なしでの引き渡しとなり、受付の混雑や引き渡し方など今後に向けての改善点も明らかになり、学校としても貴重な体験を得ることができました。お陰で無事に引き渡すことができました。

心から感謝申し上げます。



「心を整える」

下の写真はある日のあるクラスの靴箱の写真です。全員の靴のかかどが見事に靴箱の端に揃っていて、とても気持ちよかったです。

「靴箱を見れば、その学校の子供達の心の有り様(ありよう)がわかる」・・・かつて私の先輩から聞いた言葉です。子ども達の心に乱れや不安、荒れがあれば、靴も整わず、乱雑に入れられていたり靴箱から落ちていたりします。

たかが靴箱、されど靴箱です。靴の入れ方にもその子の心の状態が現れます。江北小555人の子ども達全員の靴が揃うよう頑張っていきます。

保護者の皆様が学校に来られた際には、靴箱の様子もご覧いただけたらと思います。



「夏用マスク」をいただきました！



6月17日(水)、江北町のイイダ靴下株式会社様より、江北小の全児童に夏用マスクを寄贈いただきました。飯田清三会長が学校に来られ、校長室で贈呈式がありました。6年生の運営委員会の百武委員長と保健委員会の坂井委員長が児童を代表してマスクを受け取り、御礼の言葉を述べました。飯田会長さんからは「暑い時期ですが、このマスクを付けて感染を予防し、快適な学校生活を送ってください。」との言葉もいただきました。これで江北小の子供達は4月以来、4回に渡ってマスクの贈呈をいただいています。本当に地域の方々への愛情に恵まれていると思います。温かいご厚情への感謝の気持ちを持ち、しっかりと感染予防に努めて、健康・元気で生活することで恩返しをしたいと思っています。

5年生が田植えの体験をしました！

6月26日(金)、5年生が総合的な学習の授業で、中学校近くの田んぼで田植えを行いました。

当日は農協青年部の方に「講師」として来ていただき、手ほどきを受けながら、しろかきをしたばかりの田んぼに一苗一苗、丁寧に植えていきました。

ほとんどの子ども達にとっては生まれて初めて経験する田植えでしたが、足裏のやわらかな泥の感覚や、苗を差すときの手触りは忘れることのできない思い出になったと思います。この経験を通して「お米一粒でも大切に作る、ごはんの大好きな子」になってくれることを期待しています。



